



学校だより



丹波篠山市草ノ上 108 TEL558-0116 fax558-0260 令和7年11月号 No.7

「あれから5年・・・」

校長 安井健二

「あれから5年」・・・「何が？」

5年前の10月5日の朝、言葉がうまく出ない「おかしい」と思いつつも、どうしても学校へ行きたくて車を走らせました。右手がハンドルから落ちるの見て、疲れとかではない違和感を感じていました。

学校へ到着後、急遽、病院へ連れて行ってもらい、診断の結果、左の脳に1cm大の出血があり、それが原因でろれつが回らなくなっていたようです。加えて、右手で文字が書けなくなっていました。その時は、「あっ、困ったぞ！何とかしなきゃ！」という気持ちより、「もうあかん。学校にも戻れないし、そもそも話せないし、これからどうしたらいいんや？」というように、ネガティブなことばかり考えていました。

数日後、リハビリが始まっても、「こんなことして何になるん？どうせ元のようにしゃべれへんし。字も書けへんのやから。」といった具合でした。当時はコロナ禍で家族にも会えず、カーテンで仕切られた薄暗い空間で一日の大半を過ごしていました。

しかし、入院中たくさんの方々から励ましのメールをいただきました。その言葉の一つ一つがどれだけ励みになったことか。リハビリの先生からも根気よく励ましていただき、徐々に気持ちも晴れてきて、「何とか復帰したい。」と思えるようになりました。

小学生が使う漢字ドリルを繰り返し、繰り返し練習しました。指が動くようにと指のマッサージやリハビリを必死でしました。

いろいろな作業をする中で、リハビリの先生から「安井さん、すごいね！できたやん。」と言われると、ものすごくうれしくて、また頑張ろうと思えました。小さなことでもほめられることがこんなにうれしいんだということを改めて実感しました。同時に、私はこれまで「できたことをほめる」より「できてないことを見つけて叱る」ことの方が多かったのではないかと反省させられました。

5年経った今でも、しゃべりにくい時があったり、元のように思い通りに字が書けなかったりします。しかし、5年前のことで気付いた「人の優しさ」「最悪の状況でも最善を尽くすことの大切さ」「ほめることの大切さ」をいつまでも忘れず、これからも多紀っ子をさらに大きく成長させるために生かしていきたいと思っています。

そうすることが、あの時、そして今でも気遣いの言葉をかけて下さる方々への感謝の証だと思っています。でも、何より健康が一番ですね！

強い絆で結ばれて

本校は、ネットトヨタ神戸株式会社と持続可能なより良い世界を目指すSDGsの目標の達成をお互いに協力しながら目指すため、令和4年5月23日にパートナーシップの協定を締結しています。それにより、年間を通して本校の教育活動にご協力いただいています。

11月7日（金）には出前授業をお世話になり、持ってきていただいた自動車を使っの自動車整備体験や、どんな人にとっても住みやすい社会を作るために開発された車椅子に乗る体験をさせてもらいました。また、クリーンエネルギーについても教えてもらい、社会科の「工業」の学習を深めることができました。



お世話になりました・・・リサイクル活動



11月8日（土）、小・中のPTA、そして中学生の協力を得て、本年度2回目のリサイクル活動を実施しました。早朝よりご協力をいただき、ありがとうございました。協力いただいた方々のマ

ンパワーにはいつも感心し、感謝しています。今後ともよろしく願いいたします。

楽しいひと時でした

10月23日（木）に、高齢者大学たき学園の受講生の皆さんにお越しいただき、6年生との交流の時間を持つことができました。今回の交流のテーマは「大道芸で多世代交流」でした。講師は大道芸人のたっきゅうさんで、磨かれた芸と話術で楽しみながら学ばせてもらいました。終わった後には、「校長先生、皿回しの道具を買ってください」と言う児童や、たっきゅうさんに作ってもらったバルーンアートを校長室へ持ってくる児童もいました。

たき学園の皆さん、楽しいひと時をありがとうございました。

12月の主な行事

1日（月） ～3日（水） 個人懇談（希望者） 2日（火） マラソン記録会 22日（月） 給食最終日 23日（火） 大掃除 全校終会 11：10 24日（水） 終業式 全校終会 11：10	27日（土） ～1月4日（日） 土、日も含んで、年末年始の学校閉庁期間になります。 ※3学期始業式は、 1月7日（水）です。
--	--



